

【平成23年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村第五

中学校

【国語】

■生徒の状況	授業中においては、真面目に取り組んでいるが、発言や質問などは少ない傾向にある。
■指導についての課題	漢字の読み書きなどはよくできているが、文章で答える問題などはめんどろになって解答しない傾向がある。また、文法に関する問題は、なかなか理解できない。
■授業改善に向けての具体的な方策	毎日の朝読書を励行させるとともに、文を読んで内容をまとめて文章等で答える練習を多くするようにする。漢字の小テストを繰り返し、基礎的な漢字の読み書きができるようにする。文法については、定期的に復習をしながら理解できるようにする。

【社会】

■生徒の状況	授業中は真面目に取り組んでいる。社会科を得意とする生徒とそうでない生徒の差が著しく、基礎的内容の定着に大きな差がある。
■指導についての課題	基礎的・基本的内容の定着を図る。 地理・歴史・公民の各分野において、ものごとの原因や結果を考える力を養う。
■授業改善に向けての具体的な方策	教科書をよく読む習慣をつけさせる。 資料集等を活用して、自ら調べる態度を育てる。 小テストを実施し、基礎的内容の知識と理解の定着を図る。 学習内容をいかし、まとめたり発表する機会を設ける。 復習のための課題プリントによって基礎的な知識の定着を図る。

【数学】

■生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返り全国調査を分析すると、全項目において校内平均は区の平均を上まわっている。 ・文字式の計算や方程式の計算では80%以上の正答率であるのに、関係を表す式と方程式の利用での正答率が25%と著しく低い。
■指導についての課題	・計算については、これからもしっかりと練習を積み、自信をもって問題に取り組めるように指導していく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識が問題の意味の理解さえ困難にしていることがあるので、苦手意識が少しでも薄くなるようにする。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、式で表現することに対しては、文章をしっかり読み意味をとらえ、理解するところを丁寧に指導する。次に、文を式で表現するいくつかのパターンで練習し、慣れさせ、自分で進んで解いてみようという気持ちにさせることが重要である。 ・公式や定理など覚えておかなければならない事項をくり返し小テストなどを行い覚えさせる。

【理科】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事象に対する関心の高い生徒が多いが、実験の前に結果を予想し、課題を解決しようという意欲が不足している。 ・実験は進んでするが、考察が苦手である。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考える時間、発表する場をつくる。 ・実験の目的、および結果を明確化し、書く活動の機会を増やす。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業導入段階で、自分の考えを明確にさせ、机間指導をしながら助言を行う。その後、発表する時間を設ける。 ・何のために実験をするのかを明確にし、その結果からわかることをプリントに自分の言葉で表現させる。 ・単元終了ごとにテストを実施する。

【音楽】

<p>■生徒の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な音楽用語が理解できていなかったり、正しい発声方法も身につけてはいないが、こちらの指導にはしっかり対応し積極的に取り組んでいる。 ・鑑賞はじめ、さまざまな音楽指導を意欲的に聞き取ろうとする生徒が多く熱心である。 ・読解力、文章力問題を苦手とする生徒が多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発声方法を十分に理解できていない生徒に対しての指導が不十分であった。 ・視聴覚を使用して、視覚からも働きかけ総合的に音楽芸術を鑑賞できるようにする。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動も学びもある授業体制にするための教材研究の必要性。

	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に応じての発声指導の改善。 ・録音をし、いつでも客観的に思考、判断、表現できるように常に働きかける。
--	--

【美術】

■生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律が徐々に確立してきており、落ち着いて制作に取り組んでいる。 ・課題に対して、意欲的に取り組む生徒とそうでない生徒がおり、進度や作品のレベルに大きな差が出てしまう。 ・基本的な技能を身につけていない生徒が多く、作業に多くの時間を要する。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態を把握せずに、課題を設定してしまった。 ・授業規律の確立が不十分である。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに授業規律を整え、意欲的に制作が出来る環境づくり、雰囲気づくりに努める。 ・すべての生徒が意欲的に取り組むための教材を開発する。 ・基本的な技能を身につけるための授業を1年の段階で行っていく。

【保健体育】

■生徒の状況	<p>(男子)全学年、全体的に生徒は前向きの姿勢で頑張っている。</p> <p>(女子)1年:規律を守り、全体的に一生懸命に取り組んでいる。</p> <p>2年:学習意欲がある。実技に向上が見られる。</p> <p>3年:全体的に意欲的であるが、実技力の差が大きい。</p>
■指導についての課題	<p>(男子) 前向きな姿勢を大事にして、より自主的な行動力を身につけさせる。グループ学習を通して言語活動の充実をはかる。</p> <p>(女子) 意欲的な生徒が多いので、やる気を大事にする。実技力が優れていない生徒への声かけを、仲間同士で出来るように、グループ学習を通して言語活動の充実をはかる。</p>
■授業改善に向けての具体的な方策	<p>(男子)自主的に考え、行動できる生徒の育成が、大切である。コミュニケーション能力の向上を目指し、場面設定としてグループ活動主体で行う。教え合いの中から言語活動の高まりを期</p>

	<p>待したい。</p> <p>(女子)個人内の成長が分かるようにカード学習などを積極的に行っていく。コミュニケーション能力の向上を目指し、場面設定としてグループ活動主体で行う。教え合いの中から言語活動の高まりを期待したい。</p>
--	--

【技術・家庭】

<p>■生徒の状況</p>	<p>どの学年の生徒も実習の体験が少なく、作業に取りかかるまでに、かなりの時間を要する。各自が説明された内容を理解しても、失敗することを警戒して、他の生徒が活動するまで開始できない状況が多々見られる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(1年)安全指導と工具全般の正しい基本的な使用法の理解</p> <p>(2年)安全指導 特に、刃物の取り扱い・火傷の対処の確認</p> <p>(3年)安全指導 特に、切削及び研磨作業 薬品の取り扱いの理解を重点として指導の予定だが、作業経験の不足のみならず、隔週での授業なので、なかなか技能が身につかない。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の作品を実物モデルとして提示する。又は、パソコンの基本操作を初めに指導して、前年度の作品の画像として提示して、完成状態を把握させて、完成のイメージを持たせて設計にあたる。 ・各自が、作業の進度に合わせて作業工程を計画できるように、説明用のプリントや治具の製作を充実させる。 ・作業工程や各自の進度にあわせて、発展課題も準備する。 ・安全を第一と考えて、作業中の授業ルールの確認と、各工具の正しい使用法と危険な行動や禁止事項を確認する。

【外国語】

<p>■生徒の状況</p>	<p>ほとんどの生徒は、まじめに授業に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習が定着していない生徒が多い。 ・基礎的な単語力のない生徒も若干名いる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒を育てる必要がある。 ・簡単な英語を聞いて理解したり、簡単な英語を書くことができるような基礎基本を身に付けさせる。

<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数制を生かしたきめ細かい指導をさらに充実させる。 ・全校規模でスペリングコンテストを実施し、基礎基本の定着を図る。 ・ALTを活用し、授業内での実践的なコミュニケーション活動を取り入れる。 ・单元ごとにまとめプリント・テストを行い、生徒の理解度を把握し指導に役立てる。
-------------------------	--

【総合的な学習の時間】

<p>■生徒の状況</p>	<p>それぞれの課題や目標を理解し、まじめに取り組んでいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事関係の取り組みだけでなく、各領域のバランスの取れた課題設定が必要である。 ・毎年継続して取り組めるような、長期的な計画も考えていく必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との連携も行い、多方面に渡って課題や内容を選定していく。

○ その他(言語活動の充実等)

言語活動については、各教科で年間指導・評価計画を作成する場合に言語活動の要素を取り入れるようにしている。国語科だけでなく各教科や総合的な学習の時間で取り組むことを目標としている。このような横断的な取り組みをすることにより、生徒の基礎学力を向上させたいと考えている。